

平成 30 年度第 1 回富山県手話施策推進協議会の主な意見

日 時：平成 30 年 9 月 28 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 3 時
場 所：富山県庁 4 階大会議室

○第 4 次富山県障害者計画に盛り込むべき内容等について

- ・聴覚障害者が ICT を活用するための講習会の開催について盛り込んでいただきたい。
- ・言語である手話を使ってコミュニケーションができるデイサービスなどの場が発展していくような施策を盛り込んでいただきたい。
- ・子どもが聴こえにくいと分かった際に、子どもだけでなく、その保護者も手話を学べる機会を作るという施策も盛り込んでいただきたい。
- ・聴覚障害者以外にも様々なコミュニケーション支援が必要な方がいるので、手話とあわせてそれら支援を充実させていくという視点も必要ではないか。

○今後県として取り組むべき施策等について

- ・手話の普及活動について、県と市町村が一体となって行うことで、さらに効果が上がるのではないか。
- ・各地域単位で、手話の関係者等が意見交換を行う機会があればよいと思う。
- ・県民の手話への関心が深まるよう、各地域で県民や企業、商店などを対象に短期間の手話講習会を開催したり、公の場所において手話を PR するといった取組みも考えられるのではないか。
- ・手話通訳者が手話通訳を行う機会が増加することにより、^{けいけんわん}頸肩腕障害などの健康問題が危惧されるため、県として対策が必要ではないか。
- ・手話通訳の資格を持っている人が県の正規職員に採用されるよう取り組んでいただきたい。
- ・一般の学校において児童生徒や先生が手話を学ぶ機会を提供するとともに、手話やろう者についての理解が深まるような取組みをしていくことが重要である。